

提出は不要です。

**必要事項を入力いただきますと各様式に反映されます。
必ず最初に必要事項を入力してください。**

入力シート（交付）（長寿命型）

< 交付申請時 基本情報入力シート >

1. **【確認】**
この交付申請様式のデータは次の事業です。

事業名	令和元年度地域型住宅グリーン化事業
事業の種類	長寿命型（長期優良住宅）

間違いありませんか？

2. **【確認】**
交付申請書類は、対象住宅毎に作成していただきます。
この入力シートの提出は不要です。

3. **【入力】**
最初に色が付いた部分に各項目の情報を正しく入力してください。
入力した情報は、交付申請の様式上部に反映されます。

グループ番号（下4桁の数字）	0999
グループ名称	〇〇木造住宅供給協議会
事業者番号（5桁の数字）	12345
施工事業者	
法人・個人事業主等の名称	株式会社〇〇工務店
代表者の役職名	代表取締役
代表者の氏名	長持 太郎
住所	東京 都道府県 新宿区神楽坂1丁目2番地△△ビル6階
建築主名①※	フリガナ ナガク スミオ 長久 住雄
売買は物件名	
建築主名②※	フリガナ ナガク クラシコ 長久 暮子
建設予定地	確認申請等で申請する地名地番を記載してください。 東京 都道府県 新宿区神楽坂15

※連名の場合は建築主名①に代表の方、②の方は建築主名②に記入し他の方が複数の場合は建築主名②に併記
法人の場合は建築主名①に「名称」、建築主名②に「代表者の役職及び代表者名」を記入
1人の建築主が複数物件申請する場合は申請物件が特定出来るように部屋番号等を建築主①に併記
売買契約による場合は「〇〇タウンハウス△号棟」等、特定できる名称を記入

4. **【再確認】**
入力が終わりましたら、上記で入力した建設予定地は、必ず確認申請等で申請する地名地番を記載してください。

5. **【留意事項】**
※ 交付申請後に、上記に入力した交付申請番号や様式内の記載事項の誤記が見つかった場合は、入力情報を修正のうえ再提出していただきます。

※ 各様式は、修正液、修正テープ等により修正や、訂正印を用いての修正はできません。
令和元年度地域型住宅グリーン化事業（長寿命型）

グループ番号は、半角 4桁で入力してください。
※グループ番号は、グループに確認してください。

グループ名称を入力してください。

実施支援室からグループ事務局に通知しました事業者番号の5桁を記入してください。
※施工事業者は、グループに番号を確認してください。

施工事業者の名称、代表者名は、適用申請書に記載された内容と同様に入力してください。
特に漢字の間違えにご注意ください。（旧字などに注意）
適用申請書の記載事項と異なる場合は計画変更が必要です。

「請負契約書」において建築主が連名の場合は、上段に代表となる建築主名 下段にその他の建築主名を入力のうえ、必ず連名にて申請を行ってください。
「売買契約」での交付申請は物件名を入力してください。
例「××××A棟」

提出は原本です。

様式2 (長寿命型)

	事業者番号 12345
申請日	令和 元 年 8 月 20 日

地域型住宅グリーン化事業実施支援室 殿

令和元年度地域型住宅グリーン化事業補助金交付申請書

令和元年度地域型住宅グリーン化事業に要する費用について、補助金の交付を受けたいので、令和元年度地域型住宅グリーン化事業補助金交付規程第5の規定により、関係書類を添えて下記の通り申請します。申請にあたっては、交付申請者及び対象住宅が本事業の要件やグループの共通ルールに適合していること、交付申請者及び対象住宅の建設に関する法令を遵守することに間違いありません。

なお、グループ代表者及び事務局担当者を申請代理人と定め、令和元年度地域型住宅グリーン化事業補助金の交付申請等の手続きに関する一切の権限を委任します。

記

1. 交付申請者

所属グループ番号	0999	所属グループ名称	〇〇木造住宅供給協議会
----------	------	----------	-------------

法人・個人事業主等の名称	株式会社□□工務店	・会社の代表者印 ・個人事業主の場合は実印
代表者氏名	長持 太郎	印
住所	東京都 新宿区神楽坂 1丁目2番地△△ビル6階	

2. 交付申請する住宅の建築主等

契約形態	建築主名① (請負の場合) 物件名(売買の場合)	ナガク スミオ 長久 住雄
<input checked="" type="checkbox"/> 請負契約	建築主名② (請負(連名)の場合)	ナガク クラシコ 長久 暮子
<input type="checkbox"/> 売買契約		

※連名の場合は建築主名①に代表の方、他の方は建築主名②に記入し他の方が複数の場合は建築主名②に併記
「職及び代表者名」を記入
「に部屋番号等を建築主①に併記
きる名称を記入

3. 補助事業

4. 事業の完了日 (様式3のとおり)

5. 交付申請額・算出方法及び事業経費の配分 (様式4のとおり)

(注意事項)

- 交付申請書は、1住戸につき1枚作成してください。
- 修正液、修正テープ等や訂正印での修正はできません。(提出書類共通)

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

令和元年度地域型住宅グリーン化事業 (長寿命型)

「入力シート」の内容が反映されます。

申請日は、グループ事務局に提出する日付を入力してください。

「入力シート」の内容が反映されます。

「入力シート」の内容が反映されます。

法人 = 会社の代表者印
個人事業主 = 実印 + ※
※マイナンバーの記載がない
印鑑登録証明書(原本)を添付

請負契約または売買契約を選択してください。
様式4に反映されます。

「入カシート」の内容が反映されます。

様式3 (長寿命型)

グループ番号	0999	事業者番号	12345	建築主等	長久 住雄
--------	------	-------	-------	------	-------

対象住宅・建築物の概要

1. 工事請負契約の締結日

令和 元 年 7 月 20 日

工事請負契約書を締結した日付を記載してください。

2. 事業の完了日

令和 元 年 12 月 25 日

事業完了とは、
※工事の完成 ※引渡し完了 ※工事費の支払い完了の全てが整った日を指します。
契約書記載の完了日と相違しても問題ありません。

3. 対象住宅の概要

建設地の番	東京 都道府県	新宿区神楽坂15
契約書と表記が異なる理由	<input type="checkbox"/> 住居表示のため <input type="checkbox"/> 分筆前のため <input type="checkbox"/> その他()	
構造	<input checked="" type="checkbox"/> 木造のみ <input type="checkbox"/> 混構造(木造+鉄筋コンクリート造、木造と鉄骨造等)	
階数	地上 2 階 地下 階建	
対象住宅の面積	120.00 m ² ※インナーガレージや住宅以外の用途部分の面積を除く	
用途	<input checked="" type="checkbox"/> 住宅のみ <input type="checkbox"/> 住宅(インナーガレージ付) <input type="checkbox"/> 住宅以外の用途との併用住宅	

「入カシート」の内容が反映されます。

建設地の地名地番が工事請負契約書の建設地を住居表示で作成している場合は、「住居表示のため」にチェックをしてください。

確認申請等で申請する構造、階数、対象住宅の面積及び用途を選択してください。

対象住宅の面積は、少数点第2位まで記載してください。

4. 三世代同居対応住宅に設置する調理室等の数 (三世代同居加算を対象とする場合)

調理室	2 カ所	浴室	2 カ所	便所	2 カ所	玄関	1 カ所
-----	------	----	------	----	------	----	------

三世代加算を対象とする場合は、各箇所の設置数(申請数)を記載してください。
※1箇所の場合も記載ください。
※玄関が2箇所以上の場合には配置図を追加提出ください。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

税抜き金額です。

様式2で選択した「請負」が「売買」が反映されます。

「入力シート」の内容が反映されます。

様式4 (長寿命型)

グループ番号	0999	事業者番号	12345	建築主等	長久 住雄
--------	------	-------	-------	------	-------

対象住宅・建築物の経費

1. 契約の区分及び契約額 (消費税抜き)

<input checked="" type="checkbox"/>	請負契約による住宅	工事請負契約の契約額※ (A)	21,300,000 円
<input type="checkbox"/>	売買契約による住宅	契約額のうち土地の代金	円
		契約額のうち建物の代金 (A)	円

請負＝請負契約額(税抜き)を記入してください。

様式2で「売買」を選択するとグレーになりません。売買＝予定販売価格を土地と建物(税抜き)に分けて記入してください。

2. 契約額のうち補助対象とならない経費の内訳 (消費税抜き)

補助対象外工事費 項目	工事費	備考
1 用地費、地盤改良工事、解体工事費、外構工事、ウッドデッキ等	3,200,000 円	
2 インナーガレージ・店舗部分等	円	
3 昇降機、煙突、アンテナ、屋上緑化等	円	
4 屋外給排水工事(浄化槽等含む)、屋外ガス設備工事、幹線引込み工事	800,000 円	
5 分離して購入できるもの(カーテン、ベレッタストーブ、家具等)	300,000 円	
6 設計料、工事監理費、各種申請費、保険費、調査費	1,200,000 円	
7 太陽光発電設備	円	
8 その他 ()	円	
9 その他 ()	円	
10 その他 ()	円	
補助対象外工事費 合計	5,500,000 円 (B)	

補助対象外工事費の内訳を記入してください。

※「値引き」は工事項目になりませんのでご注意ください。
※「原価による申請」の際、営業利益が契約額に含まれている場合は、その他に追記のうえ補助対象外工事費として算出してください。

3. 他の補助事業の補助金

国庫を含まない補助金の額	150,000 円 (C)
--------------	---------------

対象住宅において国の補助金が含まれていない補助制度を活用した場合は、その補助額(C)を記入してください。

4. 補助対象工事費の算出

補助対象工事費 (A) - [(B) + (C)]	15,650,000 円 (D)
---------------------------	------------------

※国の補助金が含まれる場合、併用できない事業もありますので確認をお願いします。

5. 補助額及び掛かり増し費

配分の区分	補助額	補助対象工事費から求める補助額の確認	OK
長期優良住宅	100 万円 (E) (10万円単位)	(D) / 10000 (単位調整) × 1/10 =	156 万円 ≥ 100 万円 (E)
		掛かり増し費の確認	
		<input checked="" type="checkbox"/>	補助額は建設工事費のうち長期優良住宅にするための掛かり増し費用の1/2以内である
地域材加算額	20 万円 (10万円単位)	<input checked="" type="checkbox"/>	補助額は建設工事費のうち地域材を利用するための掛かり増し費用の1/2以内である
三世帯同居加算額	30 万円 (10万円単位)	<input checked="" type="checkbox"/>	補助額は建設工事費のうち三世帯同居対応住宅にするための掛かり増し費用の1/2以内である
交付申請額	150 万円		

補助額(E)は補助対象工事費(D)の1/10より少ないことを確認し、補助額掛増し費用の1/2以内であることを確認しチェックしてください。

補助額は、プルダウンで選択してください。

「地域材加算」と「三世帯同居対応住宅」を申請する場合、補助額がそれぞれの掛増し費用の1/2以内であることを確認しチェックしてください。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。

地域材加算の条件:
主要構造材の過半に地域材を使用する。

工事請負契約書の提出も必要です

採択日まで未着工であることを確認します。
 ※丁張りまでは**未着工**とします。
 ※根切工事、柱状の地盤改良、基礎杭打ち工事は**着工**となります。
 ※**建替え等**で既存建物がある場合も撮影のうえ提出ください。
 ※**積雪**で地面が見えない場合も撮影のうえ提出ください。雪解け後に再度撮影し、実績報告時に提出が必要です。

様式5 (長寿命型)

グループ番号	0999	事業者番号	12345	建築主等	長久 住雄
--------	------	-------	-------	------	-------

「入力シート」の内容が反映されます。

対象住宅・建築物の着工前の現地写真

採択日以降の着工前の写真

使用する配分額の採択通知の番号※	国住木 第	24	999	号
------------------	-------	----	-----	---

国土交通省よりグループ事務局へ発出された採択通知書(書面右上)にある番号を記載してください。

写真貼り付け欄①

・写真を貼付ける際は、縦・横の比率を変更せず、枠いっぱい大きくすること。

写真内に必ず工事看板を入れて撮影してください。
 看板には、
 ①採択番号
 ②建築主名(売買は物件名)
 ③撮影日
 ④事業者名
 記載が必要です。
 印刷した際に①～④の情報が読み取れるか確認のうえ提出ください。

信憑性確認機能(改ざん検知機能)を有するデジタル工事写真の小黑板情報電子化対応ソフトウェア

アプリ名		バージョン	
------	--	-------	--

撮影の際の注意:
 敷地周辺の建物を写しこみ必ず異なる場所から撮影してください。

※車等の駐車がない状態であることを確認してください。

写真貼り付け欄②

・写真を貼付ける際は、縦・横の比率を変更せず、枠いっぱい大きくすること。

電子黑板は、原則使用不可です。詳しくは、マニュアル 第一章 別紙2を参照してください。

信憑性確認機能(改ざん検知機能)を有するデジタル工事写真の小黑板情報電子化対応ソフトウェア

アプリ名		バージョン	
------	--	-------	--

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

令和元年度地域型住宅グリーン化事業(長寿命型)

必ずカラー印刷で提出してください。

看板の文字がわかる事を確認ください。

写真の比率を変更せず貼り付けてください。

令和元年度地域型住宅グリーン化事業(長寿命型)

【請負契約の場合】 施工事業者の原本の写しを提出してください。

様式6 (長寿命型)

グループ番号	0999	事業者番号	12345	建築主等	長久 住雄
--------	------	-------	-------	------	-------

請負契約の場合

<施工事業者の**原本の写し**を提出>

令和元年度地域型住宅グリーン化事業共同事業実施規約

(要件等の確認)

- 第1条 甲及び乙は、令和元年度地域型住宅グリーン化事業(以下、「本事業」という。)に対する補助金(以下、「本補助金」という。)の交付規程、マニュアル等をよく参照し、それぞれ交付対象の要件に合致することを確認する。甲及び乙は、要件に反する事項があることを知った場合、すみやかに相手及びグループ事務局に通知する義務を負う。
- 2 甲及び乙は本規約の締結をもって、以下の(イ)から(ハ)の全ての事項について、了解したものとする。
- (イ)本補助金の補助対象となる住宅・建築物について、国費が充当された他の補助金との併用は行わないこと(他の補助金の交付対象部分を除く部分は、この限りではない)
- (ロ)本補助金を受けた住宅・建築物について甲は、注意をもって管理し、本補助金の交付の目的に従って、その効率的な運用を行わなければならないこと
- (ハ)本補助金で取得し、または効用の増加した財産(取得財産等)を、処分制限期間(補助金受領後 10 年間又は耐用年数)内に処分(補助金の交付目的に反して使用し、譲渡し、交換し、貸し付け、担保に供し、又は取り壊すことをいう。)しようとする時は、事前に処分内容等について、国土交通大臣の承認を受けなければならないこと
- (ニ)交付決定が取り消された場合には本補助金の返還をしなければならないこと
- (ホ)提出した個人情報、実施支援室が国から本事業に係る本補助金の交付を受けた年度終了後5年間保存され、本補助金の目的の範囲内で国土交通省の求めに応じて報告されるほか、国、地方公共団体及び国の他の補助事業の事務事業者からの国庫補助事業実施上の要請に基づき、これらの機関に提供されることがあり、また当該個人情報に係る個人特性を統計的に処理したデータが公表されることがあること
- (ヘ)甲及び乙は、相手、グループ事務局又は実施支援室に連絡することを怠ったことにより、事業の不履行等が生じ審査が継続できないと実施支援室が判断した場合は、実施支援室が交付申請を無効とすることができることや交付決定を取り消すことができることを承知し、これについて実施支援室に一切の意義を申し立てないこと

(申告)

- 第2条 甲及び乙は、交付規程により制限される以下の(イ)から(ハ)の事項への該当の有無について、相互に申告する。
- なお(ロ)及び(ハ)については、乙にはその役員等(実質的に経営に関与する者を含む。)を含むものとする。
- (イ)平成28年度以降、国土交通省住宅局が所轄する他の補助事業において、本補助金の交付規程第13条の規定に相当する理由で補助金の返還を求められたこと(有りの場合の返還補助金の概要は別紙による)
- (ロ)交付規程第5第3項に規定する暴力団又は暴力団員であること、及び暴力団又は暴力団員との不適切な関係にあること
- (ハ)甲乙の関係が交付規程第5第4項及び第5項に規定する関係会社等の関係にあること
- 2 前項の申告内容に虚偽等が存することが判明した場合に、本補助金交付申請に係る補助金交付決定が取り消され、また、交付された本補助金を返還することについて、甲、乙とも一切の意義を申し立てないものとする。
- 3 甲及び乙が、第1項において虚偽の申告を行うことで相手に損害を与えた時は、甲及び乙は当該損害についてその責任を負うこととする。

(交付申請等)

- 第3条 甲及び乙は、本規約締結後すみやかに、交付申請から本補助金の受領に至るまでの手続きを共同で行う。
- 2 本補助金の交付申請から補助金の受領に要する諸手続きについては、甲及び乙を代表して乙が行うものとする。
- 3 甲は、乙の行う手続きに協力するものとする。

(補助金の還元)

- 第4条 乙は、本補助金の交付を受けたとき、受領した当該補助金相当額※について、直ちに現金の支払いにより甲に還元するものとする。
- ※補助額は、完了実績報告により実施支援室が適切と認めた後に乙に送付される「額の確定通知書」に記載されている額

(不承認)

- 第5条 乙は、本補助金の交付が受けられない、または交付が見込まれる本補助金額が減額されることを知った場合、すみやかに甲に通知し、互いに誠実に協議を行うものとする。

甲及び乙は、補助金の交付を受けるため、本規約を互いに確認し、本規約に従って補助事業を実施するものとして、本規約を2通作成し、それぞれ保管するものとともに、乙の写しを実施支援室に届け出ることとする。

令和 元 年 7 月 20 日

【乙】の所属グループ名 ○○木造住宅供給協議会

【甲】建築主 住所 東京都新宿区神楽坂15 氏名 長久 住雄	住所 東京都新宿区神楽坂15 氏名 長久 肇子	【乙】施工事業者 (交付申請者) 住所 東京都 新宿区神楽坂1丁目2番地△△ビル6 名称 株式会社□□工務店 代表者 代表取締役 長持 太郎
--------------------------------------	----------------------------	---

【甲】は工事請負契約書と同じ印または実印(印鑑登録証添付)を使用してください。

【甲】が3名以上の場合は余白に記入押印して下さい。

【乙】は交付申請書(様式2)と同じ印を使用してください。

○ 押印箇所 (甲乙共通)

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

令和元年度地域型住宅グリーン化事業 (長寿命型)

「入力シート」の内容が反映されます。

申告内容を確認のうえ
甲(建築主)・乙(施工事業者)
それぞれが(イ)(ロ)にチェック
してください。
(ハ)は、甲乙の関係について
チェックしてください。

日付は、契約締結日以降
かつ採択日以降
かつ交付申請日前であること。

建築主の住所は反映されません
ので、入力をお願いします。

グループ名、
【甲】建築主氏名
【乙】施工事業者情報は、
「入力シート」の内容が
反映されます。

「請負契約書」と同じ印を押印してください。
同じ印でない場合は、実印を使用のうえ印鑑証明書
を追加提出となります。

様式2と同じ印を
必ず使用してください。